

第二日目の午前、PTMC のイノウエバルーンの開発者であられる井上先生が自らイノウエバルーンの発明の経緯とその過程についての講義をしていただいた。

器具の発明は今まで考えたことのない分野ではあるが、先生の一中考えていて努力したから発明にいたることができたという言葉に非常に感銘を受けた。また、多くの人命を救われることを考えると胸が湧き踊るといった表現は普段われわれが日常診療で境遇する患者さんのためだと思う感情と同じではあるがより大きな視点からの表現であり、今後研究行っていくうえで、目標として掲げる重要な表現であると感じた。

また、日本での承認がとれずに、まず中国を含めた海外で使用した話など大変面白く説明していただき、非常に短く感じた 30 分であった。